

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」			
	(1)多様な文化芸術イベントの開催			
事業名	『初音ミク「マジカルミライ」』コラボレーション（メディア芸術振興事業）			
実施主体	市			
市との関わり	主催		指定管理者	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961	(内)90-2525

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）	
(1) 妥当性	実施主体の自己評価は4であるが、2次評価は2に変更
(2) 達成度	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）	
(1) 市民主体	実施主体の自己評価は3であるが、2次評価は2に変更
(2) 達成度	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
(3) 領域の広がり	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）	
(1) 妥当性	実施主体の自己評価は4であるが、2次評価は2に変更
(2) 達成度	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
4 市民との関わり（満足度、周知度）	
	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
5 効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）	
	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等

【提 言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	☐ A：継続 ☒ B：改善 ☐ C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載 缶バッジの配布については、安価な予算で市のPR実施できたことは評価できるが、現状実施している事業が、メディア芸術振興と言えるかは疑問がある。メディア芸術振興について、改めて戦略的視点やねらいなどを再考していくと良い。	